

日時：9月26日 土曜日 14:00～16:00

場所：鹿児島県リサイクル株

参加：県職員村瀬・県リサイクル株照屋・(有)エコ北通・瀧脇、上野・田ノ上・桜井・浦島・田中・狩集・前田 計11名(敬称略)

議題：廃棄物のリサイクル現場研修

自己紹介の後、

1)鹿児島県リサイクル株式会社の照屋社長より、現地のリサイクル施設についての講義

当該施設は、建設廃棄物リサイクル法により、平成4年に環境省・国土交通省・鹿児島市・鹿児島県・業界の要請で、来るべき老朽化建築物の大量解体に備えて協同組合として設立整備され、年間処理能力40万トン(県内発生量の約50%)を有し、循環型社会の構築のため、1次～2次処理まで行い、JIS規格適合材を製造できる九州屈指で県内唯一のリサイクル施設。平成19年に株式会社へ組織変更。処理経費=1,100円/tである。廃棄物と有価物の定義は全く異なるものである。リサイクル資材をJIS規格化された有価物として製品化している。

また、場内で使用する電気はすべて木質系廃棄物をチップ燃料化した自家発電で賄い、その二酸化炭素削減量は1,620t/年と県内1である。

2)有エコ北通社長より、場内の調整池で光合成最近を用いて浄化に取り組んでいる成果の発表

調整池に藻が発生してきている。透視度も上がっている。(7月3日の検体の透視度30cm以上)大腸菌群数も排水基準以下となっている。(7/3 430個/mL, 9/15 150個/mL)

3)本部会に県からの研修者が参加されていることを紹介(NPO活動に対する県からの研修要請を受け入れている。)

県水産技術開発センター 研究員 村瀬卓也 様

4)場内施設見学

写真添付(10枚)

5)その他

次回の第3回部会 平成21年10月25日(日)14:00～上野城

上野城での展示図書の整理その他 廃棄ガラスの利活用について等 作業できる服装で参加してください。

県リサイクル株での講座



県リサイクル株の1次～3次の処理製品



(有)エコ北通社長の光合成菌を用いた調整池の浄化実験中の見学(循環ポンプスクリーン部に梅花藻が発生していた)



コンクリート内の鉄を磁石で分別してる施設



コンクリートから事前に除去した鉄筋



廃棄されるレミコン（もったいないなあー）



木質系廃棄物の破砕チップ化施設



産廃の保管場所の看板



コンクリートの破砕機（この下に鉄筋の除去装置がある）

